

考えませんか

知っていますか 大館のごみのこと

大館市内の各家庭から出されたごみはどこへ運ばれているのでしょうか。

皆さんが、燃やせるもの、燃やせないものに分けておのの町内のごみ一時預かり所へ出したごみのうち、燃やせるごみとして収集されたものは沼館にある広域第一環境センター(ごみ焼却場)に運ばれ、細かく砕かれて燃やされます。燃えかすとして残ったものは埋め立て地(沼館堤沢)に埋められます。一方、燃やせないごみや粗大ご

みとして集められたものは、埋め立て地の近くにある粗大ごみ処理場でバラバラにされ、やはり埋め立て地に埋められています。

では次に、市内の家庭からどれぐらいのごみが出されているのかを見てみましょう。

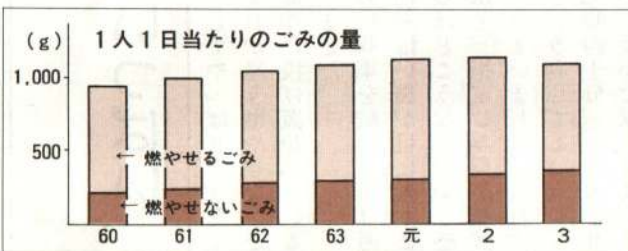
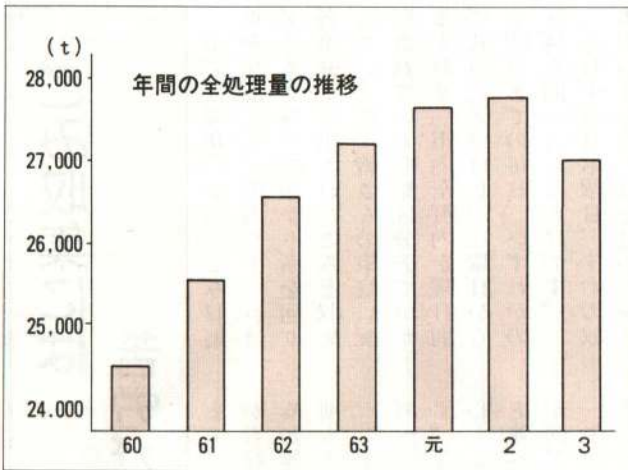
左上のグラフは、昭和六十年からのごみの処理量を示したものです。一番少なかった六十年とピークの平成二年度を比較すると三千トンの差があります。五、六年の間に収集車千

五百台分ものごみが増えたことになりました。

下のグラフは、一人当たり一日にどれぐらいの量のごみを出しているのかを表したものです。このグラフからは、ほとんど動きがないように見えますが、こちらも確実に増えてきています。六十二年



ごみの最終処分場埋め立て地



「そんなに出しているのかな」と思われる人もいるでしょうが、これが大館の実態です。

今後の課題は

分別と減量

このごみを集め、焼却し、埋め立てるのに年間四億九千万円(平成二年度)もお金が使われています。一世帯当たりになると二万一千九百円。

また、ごみ焼却場の処理能力はギリギリの状態です。燃やせるごみの中に鉄くずや空き缶など燃やせないごみが混じってき

た分別されないごみが混入することによって機械が壊れます。その部品代や修理費用だけで、年間約一億円も掛かっているのです。ごみの分別がなされなければ、この費用はどんどん膨らんでいくこととなります。逆に、燃やせるごみと燃やせないごみの分別を徹底していけば、修理費を減らすことができるのです。

・分別徹底のために、市では今年度、市内の三区を分別収集モデル地区に指定、専用のごみ袋を使って試験を行っています。これまでのところ、成果は上々のようです。

一方、現在の埋め立て地も、ごみが増え続ければ、いずれ新たな場所を探さなければなりません。金属類やびん類を資源として再利用するなど、ごみそのものを減らしていくことも急務です。